

2 一般環境大気測定局における状況

(1) 二酸化硫黄 (SO₂)

二酸化硫黄は、主として、石油や石炭など化石燃料の燃焼に伴い、その中に含まれる硫黄分が燃焼酸化することにより生じ、無色で刺激性のある気体で、気管支炎等の原因となる。また、その主な排出源は工場である。

石油系燃料使用量の一つの目安として、県下の過去10年間の重油販売実績を図1-3-1に示す。

販売量については、経済活動の低迷などにより、近年減少傾向にある。種類別にみると、硫黄分の少ないA重油はほぼ横ばいの傾向にあるのに対し、C重油は減少している

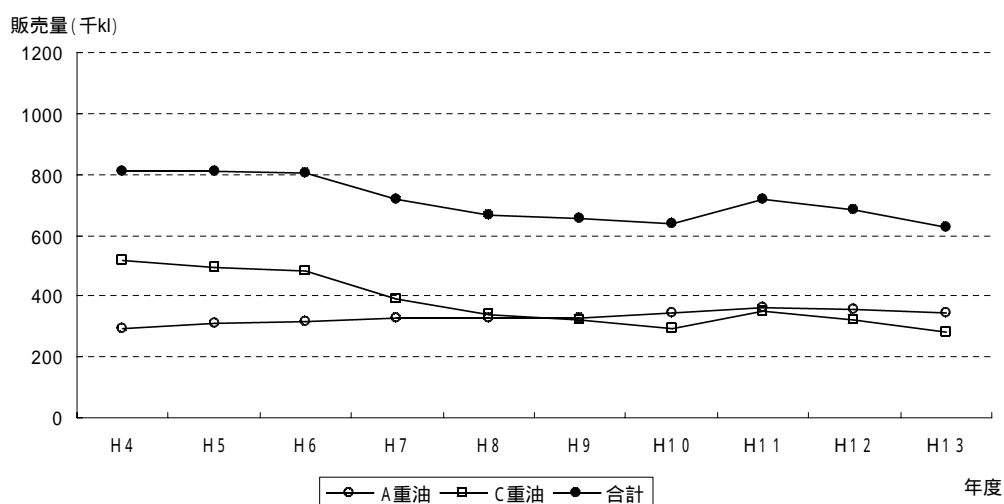


図1-3-1 大分県における重油販売量の推移 (出典：統計オオイタ)

平成13年度における大気中の二酸化硫黄の測定は、一般環境大気測定局29測定局において実施した。

測定局の測定結果の概要及び環境基準の達成状況をそれぞれ表1-3-2及び表1-3-3に示す。

長期的評価では、1日平均値の2%除外値が0.005～0.020ppmの範囲にあり、評価対象となる有効測定局の全局が環境基準を達成した。

短期的評価では、風上にある工場のばい煙が影響して、佐賀関町早吸日女神社において、1時間値の環境基準値(0.10ppm)を超えた時間が1時間あった。

表1-3-2 二酸化硫黄に係る測定結果の概要(平成13年度)

年平均値 ppm	0.003～0.007
日平均値の2%除外値 ppm	0.005～0.020
1時間値の環境基準値(0.10ppm)を超えた測定局及び時間数	佐賀関町早吸日女神社 (1)
日平均値の環境基準値(0.04ppm)を超えた測定局数及び日数	佐賀関町早吸日女神社 (1)

表1-3-3 二酸化硫黄に係る環境基準の達成状況(長期的評価)

(大分市を除く県下の測定局)

区分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
測定局数	20	20	20	19	18
有効測定局数	18	19	19	17	18
達成局数	18	19	19	17	18
達成率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全国達成率%	99.7	99.7	99.7	94.3	-

(大分市の測定局)

区分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
測定局数	11	11	11	11	11
有効測定局数	11	11	11	11	11
達成局数	11	11	11	11	11
達成率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全国達成率%	99.7	99.7	99.7	94.3	-

(備考) 1 評価の対象となる有効測定局は、年間測定時間が6,000時間以上の測定局である。

2 平成13年度の全国達成率は未集計である。

過去10年間の継続測定局における年平均値の経年変化を図1-3-2に示す。
平成4年度をピークにその後減少傾向にある。

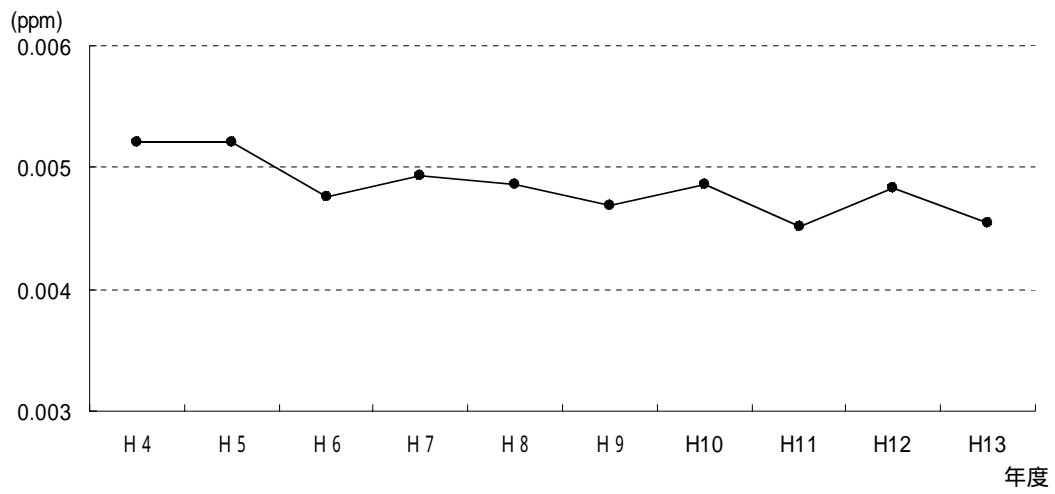


図1-3-2 二酸化硫黄に係る年平均値の経年変化

過去5カ年の地域別年平均値の経年変化を図1-3-3に示す。

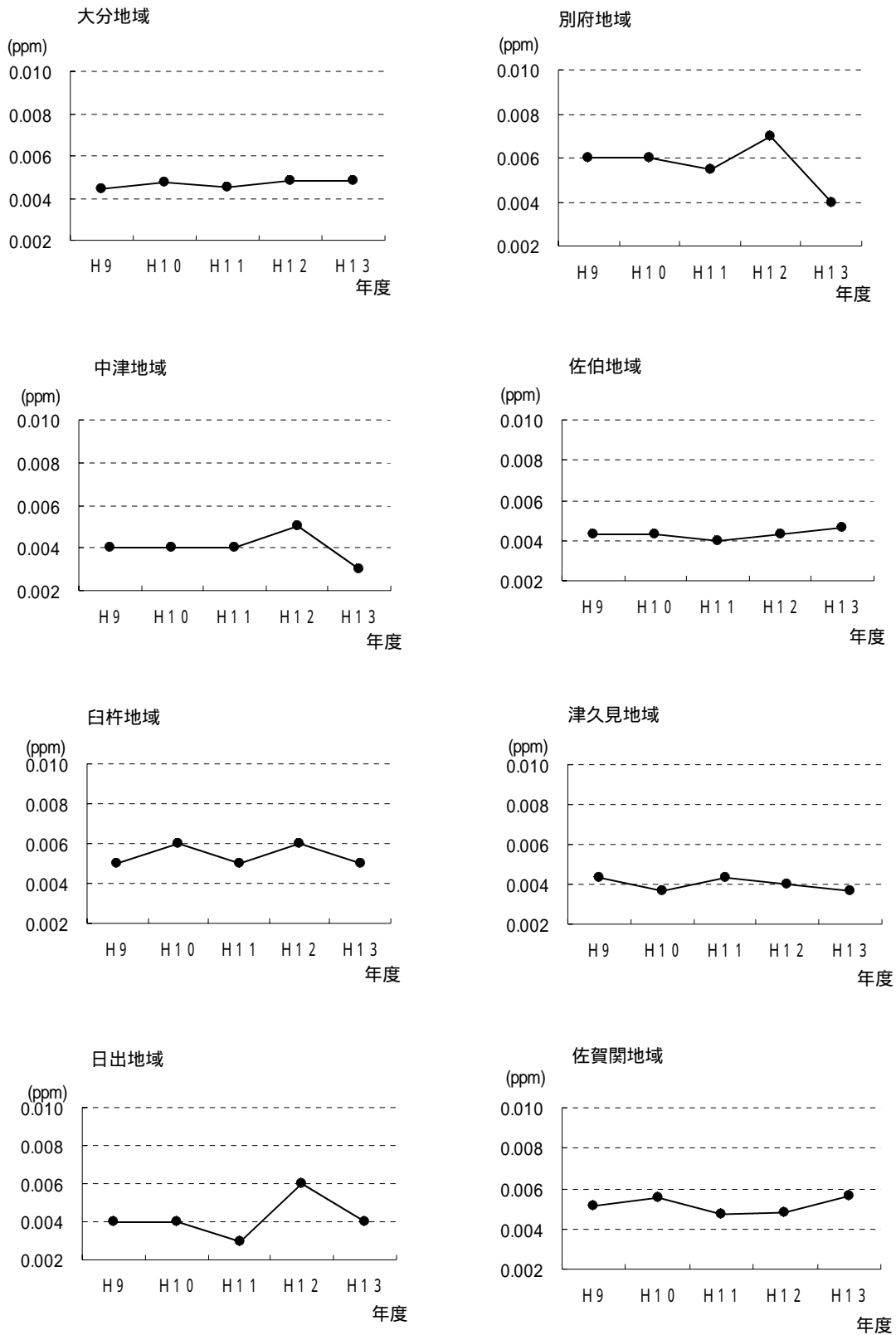


図1-3-3 二酸化硫黄に係る地域別年平均値の経年変化